

リカレント教育に係る取組みについて

早稲田大学の社会人教育の歴史

◆ 「早稲田講義録」



- ・ 創立から4年後の1886年より発行
- ・ 全国津々浦々、海外にも送り届けられた
- ・ 1886年から70年間で、200万人を超える購読者
- ・ 受講者には、早稲田大学第4代総長・田中穂積、歴史学者・津田左右吉、政治家・田中角栄ら



早稲田大学の社会人教育の歴史

◆ 「巡回講話」

- ・ 早稲田大学の教員が全国各地へ赴いて講義。
- ・ 1893年より開始。
学問の普及につとめる。



(出典)：早稲田ウィークリー2017年11月10日記事「早稲田における校外教育と夜間教育の系譜【第1回】」

早稲田大学の社会人教育の歴史

◆その後も社会人教育を拡充

- ・戦後、大学院設置、夜間学部設置（※）、eラーニングによる通信教育課程（e-school）、エクステンションセンター発足、専門職大学院設置などの取組が積極的に進んだ。

※近年では、夜間学部は廃止されている。

<直近の取組>

- ・2016年 大学院経営管理研究科設置（国内最大級のビジネススクール）
 - ・2017年 本部組織内に「社会人教育事業室」を設置し、WASEDA NEO事業開始（ビジネスパーソン向け教育）
 - ・履修証明プログラムの設置（直近ではスマートエスイーDXコース[2022]など）
- ➡社会人を対象としたプログラムは年々拡充傾向にある。

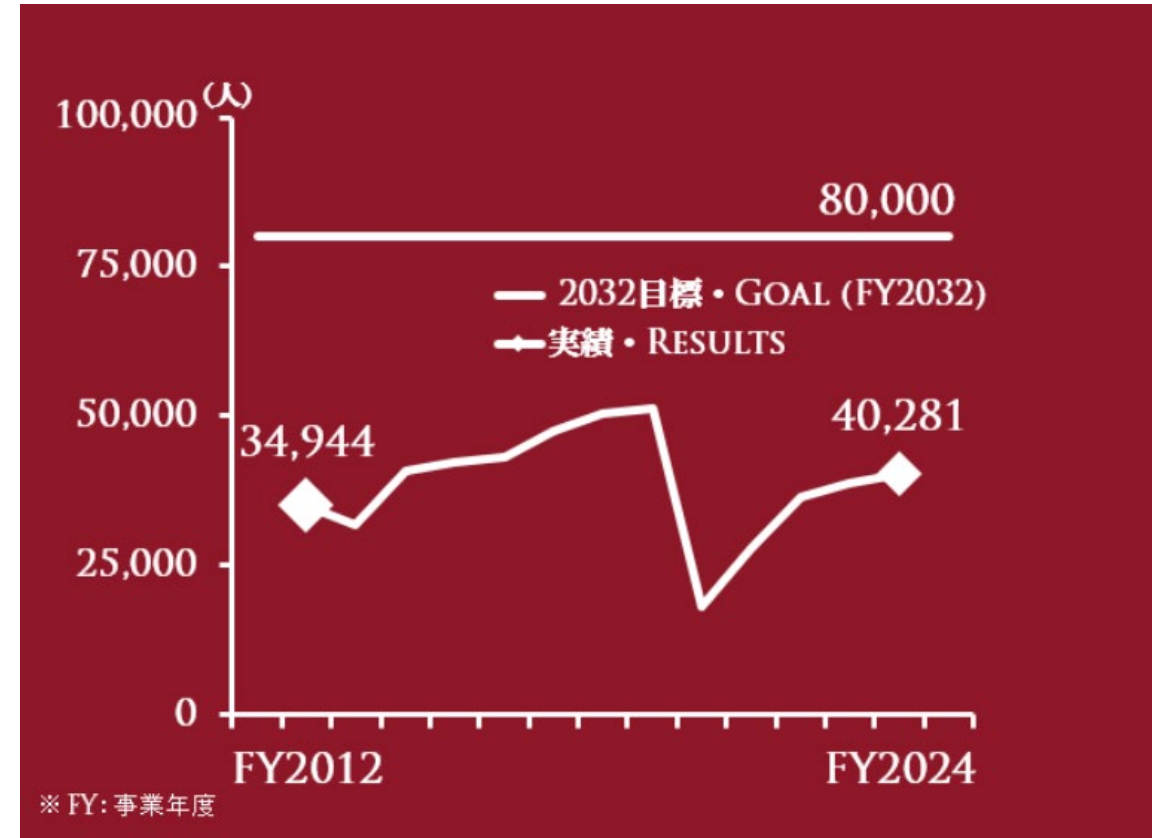
大学として取り組む意義

- ・ 生涯学習の必要性に資する社会貢献的側面
- ・ 多様な学生を受け入れによる学習環境への好影響
- ・ 早稲田大学校友の拡大
- ・ 大学財政への貢献 など

社会人教育事業の沿革

- 1979年 エクステンション事業準備室開設
- 1981年 エクステンションセンター発足
- 2012年 Vision 150 の社会人教育の拡充のプロジェクトで、2032年までに年間のべ5万人（その後8万人に上方修正）のノンディグリー受講生という目標を設定
- 2017年 社会人教育事業室設置
- 2017年 ファイナンス研究センターとWBS研究センターを土台として早稲田大学ビジネス・ファイナンス研究センター発足
- 2018年 早大初の履修証明プログラム「21世紀のリーダーシップ開発」開始、翌月「スマートエスイー」開始
- 2022年 「早稲田マーケティングカレッジ」など3つの履修証明プログラムを社会人教育事業が開始
- 2025年 社会人教育事業室を「コンティニューイング・エデュケーション推進室」に改称

* ノンディグリー教育の年間延べ受講者数＝約4.0万人(2024年度)

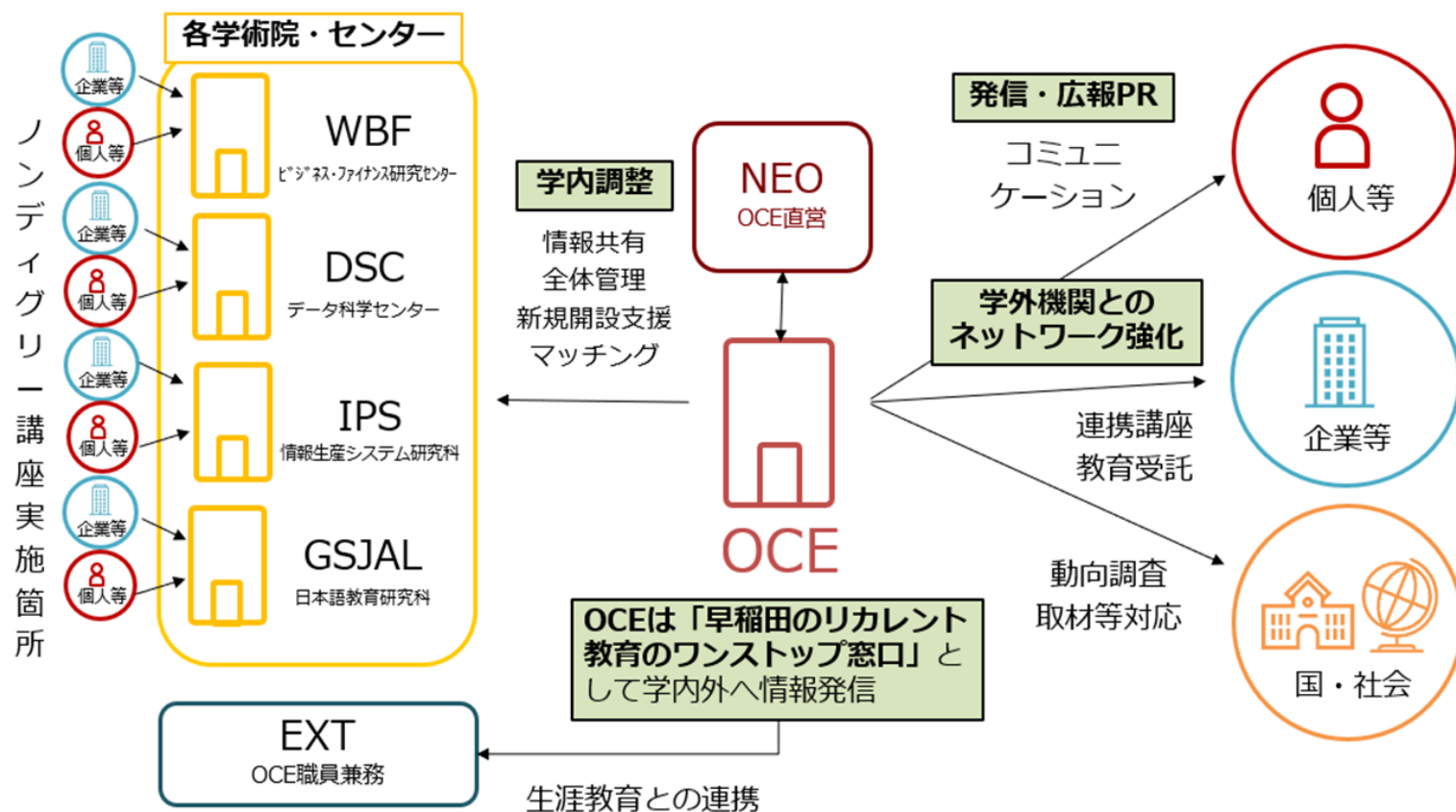


<https://www.waseda.jp/inst/vision150/infographics/2906>

学内のリカレント教育実施体制

◆「コンティニューイング・エデュケーション推進室（OCE）」の設置（2025年4月）

- ・ 持続可能な**社会貢献**として、早稲田のリカレント教育・生涯教育を**拡大・推進**
- ・ 早稲田リカレント教育のワンストップ窓口機能



早稲田大学の社会人教育の全体像



正規課程 & ノンディグリー教育



学術院組織



付属機関

- ・エクステンションセンター
- ・データ科学センター
- ・日本語教育研究センター
- ・大学総合研究センター
- ・グローバルエデュケーションセンター
- ・平山郁夫記念ボランティアセンター
- ・競技スポーツセンター
- ・留学センター
- ・リサーチイノベーションセンター 等...

その他 ノンディグリー教育



本部事務機構

- ・教務部
→入学センター
→**コンティニューング・エデュケーション推進室**
(WASEDA NEO)
- ・研究推進部
- ・学生部
- ・国際部
- ・情報企画部
- ・文化推進部 等...



その他 学校・施設

- ・坪内博士記念演劇博物館
- ・図書館
- ・専門学校(芸術学校)
- ・附属校(高等学院 等)
- ・系属校(早稲田実業、早稲田佐賀 等)
等...

エクステンションセンター



EXT

早稲田大学
エクステンションセンター

ENHANCED BY Google



マイページ

エクステンションセンターについて

申込・受講のご案内

受講生の声・講師メッセージ

パンフレット・広報誌

お問い合わせ

講座検索・申込

通常申込：2021年度 春講座 受付期間：2021年3月11日（木） 9:30～

※外国語講座 コースレベル選択の目安



文学の心



日本の歴史と文化



世界を知る



芸術の世界



人間の探求



くらしと 健康



現代社会 と科学



ビジネス・資格



外国語（英語）



外国語（英語以外）



提携・協力講座



WASEDA NEO
共同実施講座



1981年発足。早稲田大学の研究・教育機能を広く公開することを目的に早稲田・中野において講座を展開。
「オープンカレッジ」として歴史や芸術、ビジネス、外国語等の10ジャンル、年間約1,800講座を開講し、延べ約32,000人が受講。

WASEDA NEO

“「何か」を変えたい。
そう考える人たちのまなびと交流の場

※“NEO”は
N :Nihonbashi
(またはNew)
E :Educational
O :Outreach
の意

日本橋キャンパスで展開する社会人教育のため拠点。主にビジネスパーソンの学びと交流の場として、最先端のビジネストピックを扱った各種セミナー、ビジネススキル習得を目的としたプログラム等を提供。近年は特に「履修証明プログラム」の開発に力を入れている。

<https://wasedaneo.jp/>

早稲田大学の履修証明プログラム

- 早稲田リーダーシップカレッジ
- 早稲田マーケティングカレッジ
- 早稲田公共政策カレッジ
- データサイエンス実践講座
- スマートエスイー IOT/AIコース
- スマートエスイー DXコース
- DX人材育成プログラム（北九州キャンパスで実施）
- Life Redesign College(LRC)
- キャリア・リカレント・カレッジ(CRC)

早稲田大学の履修証明プログラム

◆Life Redesign College(LRC)



- －50歳以上の方を対象。人生100年時代における人生の後半を見据え、自分らしいこれからの生き方を再設計することを目的としたプログラム。訓練期間は1年間。
- －2025年度にLRC修了者を対象とするLRC Advanced Course(2年目コース)を新設し、学びの継続機会を提供。
- －監修：守口剛（商学学術院・教授、コンティニューイング・エデュケーション推進室長）

コンセプト

人生100年時代の大学

早稲田大学で
ゼミやクラス、サークルをもう一度楽しむ



さまざまな意見の人と議論して

見識を深めたい

社会課題の解決に

貢献したい

人生後半の目標を

見つけたい

これまでの仕事や

経験とは違うことを

学びたい

同年代の友人が

ほしい

もう一度

学生生活を

送りたい

背景と趣旨

背景

－人生のあり方の変容と課題－

- ・ 高齢化最先進国である日本。長寿化や働き方の変容により、人生のあり方は「教育→仕事→引退」という3つのステージからなる従来の枠組から解き放たれ、変化を遂げようとしています。
- ・ しかしながら、その過渡期にある現代の日本において、既に主たる仕事を引退した、あるいはまもなく引退しようとしている人たちが次の人生におけるステージを描くためのスプリングボードとなる選択肢があまりにも少ないため、無気力になってしまうケースも少なくありません。
- ・ このことは、社会全体が豊富な知識と経験を有する50代以上の人材という貴重なリソースを逸していることを示しており、日本社会の大きな課題といえます。

趣旨

－カレッジ生とともに描く、人生後半のロールモデル－

- ・ 超高齢化社会に直面した現代において、人生の後半においても社会や人々と繋がり続け、有意義に生きるための学びの機会とコミュニティを提供することで、人生の再設計「Life Redesign」という大学の新たな価値をカレッジ生とともに創造します。
- ・ 「Life Redesign College (LRC)」は全てのカレッジ生やパートナーとともに、現代そして未来の日本における新たな人生の後半のロールモデルを描き続けます。
- ・ 例えば、修了後も大学院等へ進学することでさらに学びを深めたり、社会課題の解決に取り組んだり、自身の経験と技術を活かして講師としての活動を行うなど、様々なケースが生まれてくることが期待されます。

学びの特徴

－大学というフラットな環境で仲間と描くそれぞれの「いきがい」－

- LRCではワークショップやディスカッションを通じて、幼少期から現在までの体験や知識、これまでの人生で得たスキルの棚卸しを行い、興味と関心を掘り下げると同時にこれからの自身の人生における「いきがい」を探究するための仕組みを用意。

－クラスワークをはじめとするコミュニティの促進－

- 「いきがい」の探究と両輪をなすものとしてコミュニティの形成を最も重要視しており、ゼミナールや各講座での交流はもちろんですが、独自の制度として1年間を通じて所属する「クラスワーク」を導入。
- クラスワークでは早稲田大学の名誉教授を中心とする講師陣が担任となり、1年間、カレッジ生とともに様々な事柄についてディスカッションなどを実施。ゼミナールやクラス単位での合宿なども任意で行うことが可能。

－大学らしい学生生活と学びのコミュニティの継続－

- カレッジ生同士の自主的な勉強会やサークル活動を行う際などは一部の教室を開放するなど、LRC生の学びをサポート。大学ならではの異世代、異文化交流の機会を設け、思考の柔軟性を保ち続けることに繋げる。
- LRC修了後も学びのコミュニティへの参加を継続するために、LRCアルumni会員制度を設けている他、2025年度からLRC Advanced Course（2年目コース）をスタート。

カリキュラム

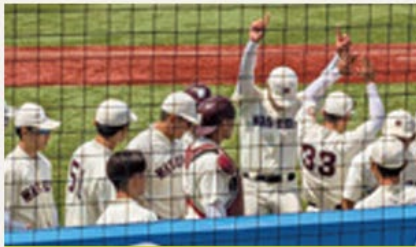
人生100年時代において、仕事や子育てがひと段落した人生の後半を充実したものにするためには、生きがいとなるライフワークを見つけることが重要になります。Life Redesign Collegeでは、自分らしいこれからの生き方を再設計することを目的としたカリキュラム構成となっています。（春/夏/秋/冬学期の4学期制）

修了要件	Life Redesign科目群 導入として今までの人生の振り返りや知識・経験の棚卸しを行ったうえで、新たなコミュニティへの参加マインドを整え、経験／強み／潜在的な欲求を振り返り、これからの人生の方向性を描きます	専門科目群 ー3つの領域ー 多様な個々人のニーズを満たす科目群 <ul style="list-style-type: none"> ● Social Issues (社会課題) 領域 今日の社会課題と解決方法を体系的かつ実践的に学ぶ ● Liberal Arts (教養) 領域 見識・知識を拡大、深化させ教養の基盤を強化する ● Communication (表現・伝承) 領域 新たな表現法、効果的なメディア活用を通じて、表現力と発信スキルを磨く 	ゼミナール 秋学期と冬学期にはゼミナールに所属し、専門科目の3つの領域からひとつの領域を選択し、自身の関心を深化させ、今後のライフデザインと関連付けてまとめます
クラスワーク 1年間を通じ同じメンバーと活動し議論を重ねながら、自然に新しいコミュニティ形成を育みます	課外活動、サークル 学びは教育だけにとどまらず、課外活動やサークル、キャンパスでの大学生との対話などを通して、交流が広がります <div>   </div>		

課外活動 & サークル活動

受講生同士が交流できるイベントや、今後のライフデザインの参考となるような課外活動を定期的に行っています。また、受講生による積極的な課外活動や交流を促進するために、公認サークル制度を設けています。入学年度の垣根を超えたネットワークも築けます。

課外活動



スポーツ観戦

春には野球の早慶戦、冬には国立競技場でラグビー観戦。ワセダスポーツを皆で楽しめます。



講演会

ビジネス・スポーツ・テクノロジー等、普段の授業とはまた違う切り口で知見を広げます。



スタディツアー

NPOやボランティアなど、実践の場を見学して実感いただく機会が必要と考え、「スタディツアー」を実施しています。参加をきっかけに活動を開始したり、LRC修了後のキャリアも描きやすくなります。

サークル活動



エンタメ会

イベントや懇親会を通じて横のつながりや期を越えた交流ができるのも醍醐味のひとつです。



ラグビト

性別・年齢・経験問わず、楽しくラグビーを応援していくことを目的としています。



Japan Timesを読む会

英語を勉強したい、時事問題について知りたい・話したい、仲間を作りたい方大歓迎です。



山歩会

年齢を超えた山歩きの魅力を共有し楽しめます。

マーケティング学習会

生涯現役研究会

学びコミュニティ

Read Aloud

※他にもたくさんのサークル活動があります。

早稲田大学の履修証明プログラム



◆キャリア・リカレント・カレッジ

早稲田大学 履修証明プログラム

キャリア・リカレント・カレッジ

～ミドル・シニア世代が自分らしいキャリア後半を設計する実践講座～

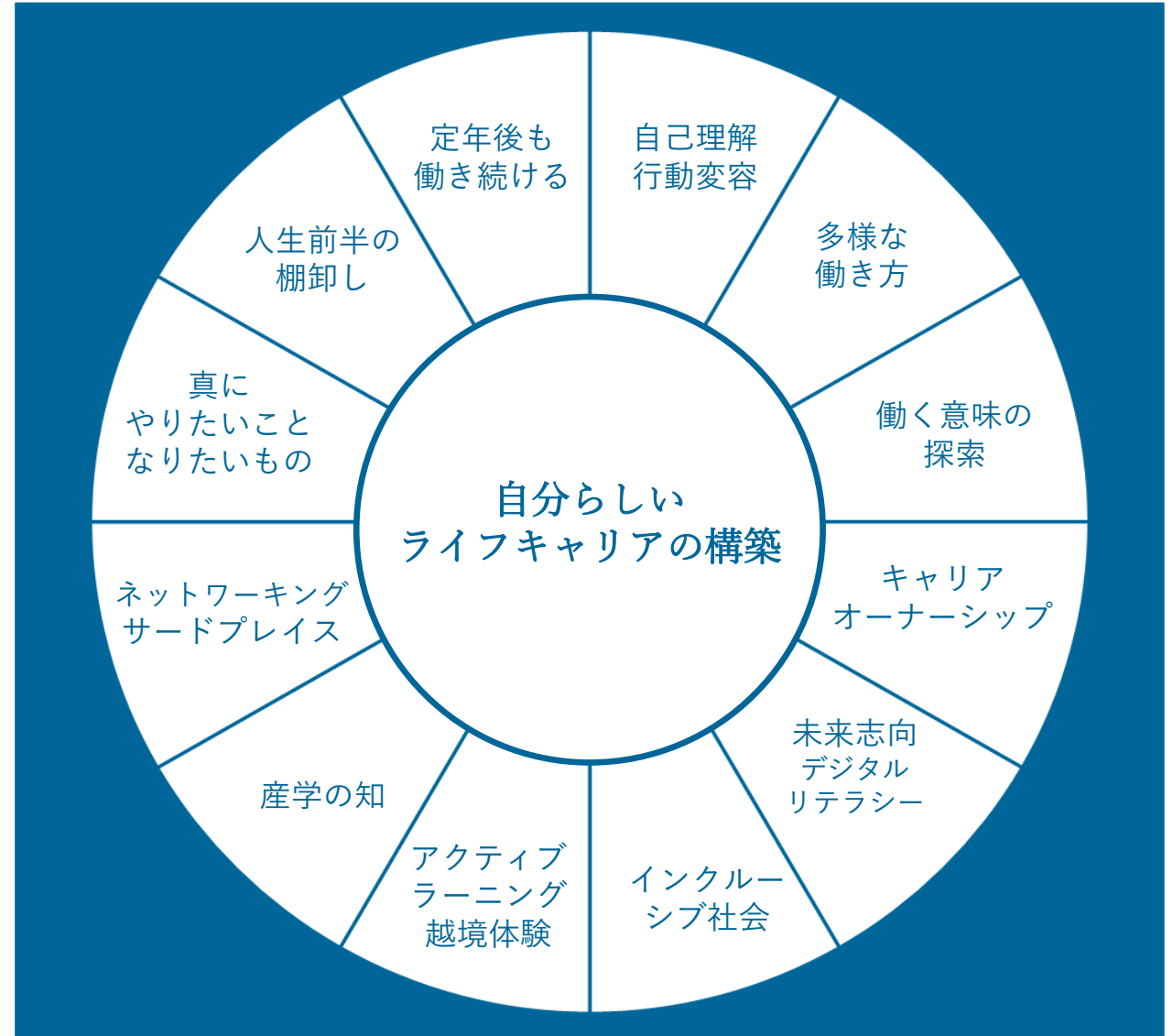
————— Career Recurrent College, WASEDA University

- －ミドル・シニア世代（40歳～65歳）の方々が、ライフキャリア（仕事を含む人生の自己実現）を主体的に形成するための素地を身につけることを目的としたプログラム。訓練時間は71.2時間。
- －職業実践力育成プログラム（BP）認定。教育訓練給付金（特定一般）認定。
- －監修：守口剛（商学学術院・教授、コンティニューイング・エデュケーション推進室長）
- －アドバイザー：池口武志（一般社団法人定年後研究所・理事所長）

コンセプト

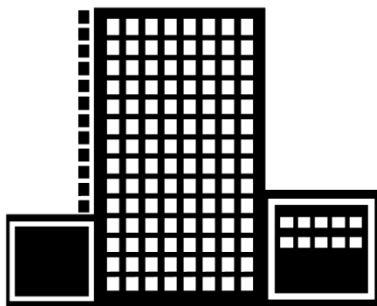
「自分らしいライフキャリアの構築」 に必要な知識、思考法、実践力を提供

- ミドル・シニア世代（40歳～65歳）の方々が、ライフキャリアを主体的に形成するための思考法、理論、実践方法を複合的に学ぶ
- 座学にとどまらず、実践体験を豊富に準備
- 背景や価値観の異なる仲間との協働力を発揮
- 新たなネットワークとサードプレイスづくり
- 総履修時間 7 1. 2 時間の履修証明プログラム



産学共同によるプログラム開発

- 早稲田大学での知の蓄積をベースに、一般社団法人定年後研究所の協力を得て、産学共同体制でプログラムを開発
- 早稲田大学教員に加え、実務家も数多く講師として参画
- 学术界と実務界の力を結集した総合的な学びと実践の場を提供



「産」のチカラ

- ・ 独自コネクションやデータ、ノウハウ、ツール
 - ・ 実社会や企業におけるフィージビリティの感覚
 - ・ ビジネスパーソンの実情を熟知
- 等々



「学」のチカラ

- ・ 学びの場の提供・運営実績
 - ・ 学術的な裏付けのあるコンテンツ
 - ・ コミュニティ形成の運用実績
- 等々

想定する受講者像



キャリア後半の職業人生を主体的にデザインしたい



役職定年や定年後への漠然とした不安を払拭したい



人生後半での「本当にやりたいこと」を見出したい



先々は、これまでに培った力を活かせる人生を送りたい



いつかは独立・起業を志向している



定年後再雇用に進むとしても、こだわりをもってモチベーションを高く維持したい



自身が所属する組織のミドルエイジの活性化を担いたい

学びの特徴

個人およびグループでのアウトプットを重視

- 自身のライフキャリア・プランニングに関連するアウトプットが得られるほか、個人の特性、強みや弱みに関するアウトプットを得ることができます。また、受講期間中、ご希望に応じて、個々のキャリア相談を受け付けており、ご自身のライフキャリア・プランニングのサポートを行います。
- さらに、複数の講義においてグループワークを実施するため、そこでも多様なアウトプットを自ら作成します。

アクティブラーニング

- 豊かな経験を蓄積してきたミドルエイジならではの視点によるディスカッションを行います。時には手を動かすなど、多くの受講シーンで思考を伴うアクティブラーニングを導入しています。

越境学習による刺激とコミュニティ形成

- 同一企業における集合研修とは異なり、異業種の人材が能動的に集まり受講します（越境学習）。
- 越境学習により様々な価値観に触れることで無意識のうちに狭まっていた視野を広げると同時に、自身の強みや課題を他者との比較によって深く理解します。
- また、半年間ともに学んだ仲間とは修了後も繋がり続け、情報交換やこの先のライフキャリアを相談し合うコミュニティを形成できます。

①学びの楽しさ・知識のブラッシュアップ

CRC Essential Lectures

- ・人材の高齢化を組織行動論の視点から考える
- ・組織のダイバーシティと競争力
- ・イノベーションの理論と実践
- ・私たちの心と思い込み
- ・行動変容のためのマインドセット
- ・ふたたび地域社会・コミュニティに関わる為に

デジタル時代のリテラシー

- ・ファクトチェックとリテラシー講座
- ・AI時代のデジタルリテラシー講座
- ・最新の生成AI講座

学びの習慣化

②自分のリソースを知る

ライフキャリアプランニング(前編)

- ・自己理解作業 (eラーニング)
※9月下旬～10月下旬に個人で実施 (授業外)
- ・自己理解作業 (ワークショップ)
※授業内で実施

EQ活用コミュニケーション実践講座

- ・WebテストでEQ(思考行動特性)を測定し、対話力向上

③多様な選択肢を知る

ロールモデルに学ぶ

- ・地域創生、社会福祉、パラレルキャリア
※11月中旬～12月中旬にグループ活動 (授業外)

社会課題をセカンドキャリアに紐付ける思考法

- ・社会課題解決に取り組むセカンドキャリア

ライフシフト時代のダイバーシティな働き方

- ・身近な独立起業の実践方法

④自分の可能性を広げる

課題解決ワークショップ

- ・プロボノ*団体が抱える課題に対する1日完結ワークショップ

*プロボノとは、社会的・公共的な目的のために、職業上の経験やスキルを活かして取り組む社会貢献活動のこと

ライフキャリアプランニング(後編)

- ・キャリア探索活動(グループワーク)
※12月中旬～1月下旬でグループ活動 (授業外)
- ・キャリア探索活動(個人ワーク)
※2月上旬～3月中旬に個人で実施 (授業外)

キャリアビジョン宣言

- ・最終日時点におけるキャリアの方向性を発表

ライフキャリア探索・試行の習慣化

希望者には「キャリア面談」で個別フォロー

生涯にわたる
学習行動



生涯にわたる
キャリア探索行動

理想とするキャリアビジョンの実現

本プログラムのカリキュラム